

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成 29 年度第 1 回広報広聴推進委員会	
開 催 日 時	平成 29 年 8 月 9 日（水）10:00～11:40	
開 催 場 所	宍粟市役所 4 階 402 会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 鎌田恵司	
委 員 氏 名	（出席者） 委員：鎌田恵司、平野安雄、大柿直記、春名豊滋、前野良造、高田佳一、小野文乃、加藤智子、樽本勝弘、 広報広聴アドバイザー：井関崇博 計 10 名	（欠席者） 委員：古根川淳也、前井真貴、 梶本 愛
事 務 局 氏 名	企画総務部部长 坂根雅彦 企画総務部次長 上長正典 秘書広報課長 三木義彦 秘書広報課副課長 小河秀義 広報係長 宮辻貴之 広報係主査 上月恭子	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） *内容 ・委員委嘱、正副委員長選出、自己紹介 ・宍粟市コミュニケーション戦略プランについて ・広報広聴推進委員会の位置づけ等について ・宍粟市PR動画視聴 ・意見交換（市内外への情報発信について）	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認	（委員長等）	

## (会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度第 1 回目の広報広聴推進委員会を、手元の次第に基づいて開催する。</li> </ul>
副市長	<p>○あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本来は市長がご挨拶する場であるが、本日市内音水湖において関西学生カヌー選手権大会が行われており、市長はそちらへ出席している。関西学生カヌー選手権大会は、従来琵琶湖で開催されていたが、この度初めて琵琶湖以外の会場として音水湖を選んでいただいた。歴史ある大会を受け入れ、これから国内で誇れる競技場として音水湖のカヌーが発展していけばと願っている。この委員会については参画協働のまちづくりを推進し、宍粟市の魅力発信等広くどのように情報発信していけばよいかと多くのご意見を出していただく場となっている。今年度第 1 回の開催となるが、委員のみなさんのご意見をより発展的なまちづくりに生かせるよう活用したいと考えている。</li> </ul>
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション戦略プラン策定委員会からのかかわりになり、4～5 年ほどになる。この広報広聴のほかに姫路にある大学で学生のフィールドワークで 40～50 人連れてきて、その時は宍粟の野原小学校、木を使った小学校を見学や、3 年生の学生を地域資源発掘などさせてもらい、宍粟との繋がりが深まっていると感じている。自宅は神戸だが、家族を連れて車を運転していると、前にバスが止まり走っており、今日も議題にあがると思うがバスの背面に「宍粟に恋しそう」のラッピング広告をみることができ、神戸のと真ん中ではあったがそのような場所でも宍粟の広告がみられるという効果を改めて実感した。この 5 年間ほどで、いわゆる PR、特に自治体の広報のありかたが大きく変わってきている。それは SNS の普及など環境の変化によるところが大きいと思うが、それに各自治体が一生懸命それにキャッチアップし努力している状況がある。我々もこの会自体もその大きな変化についていくことができ、うまく乗っていくことができるために取り組んでいる会だと思っているので、引き続き宍粟市の広報広聴が前に進んでいくよう取り組んでいきたいと思う。よろしく願いたい。</li> </ul>
事務局	<p>○委嘱状の交付</p> <p>○自己紹介</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯見自治会長であり今年度は波賀連合自治会長を引き受けた。今回から参加。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>千種町連合自治会長として選出された。今回から参加。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会団体の代表として参加。過去 2 年間参加し継続となるが、この会は他の会に比べその道に造詣が深い方ばかりで内容の濃い会議ができていると感じている。ただそれについていくだけのスピードが欠けているところがあるが、冒頭に井関先生が話されたようにこの会の中の様々な意見をできるだけ実践に生かせるような会にできればと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>しそ森林王国観光協会を代表して、前回から継続参加。プライベートな業務で動画作成などに携わっているのでその観点からも発言できればと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍粟市社会福祉協議会山崎支部長。今回から参加。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 年前より参加。過去には新聞・ラジオ・テレビ、あわせて 50 数年あまり仕事をしてきた。そこで培った学びや様々な事柄をこの場でも生かせればと願っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代代表として参加。就学前の子を 2 人子育て中。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林セラピー事業担当の宍粟市地域おこし協力隊員。宍粟市の女性職員と一緒に、宍粟市の魅力をカメラで写真にとりながら SNS で情報発信を行っている。若者目線で意見が言えたらと思っている。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員代表として参加。井関先生が話されたように、自治体広報変化の波に乗れるよう、今の制度等うまく活用して継続的にできるような取り組みを目指すべきだと思っている。この会で勉強していきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第に委員名簿をつけている。カヌー大会取材等のため、委員3名が本日は欠席。</li> </ul>
事務局	○事務局自己紹介
委員	○副市長退席
事務局	○委員長副委員長選出
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱では、委員の互選によりということになっているが、どのようにしたらよいか。</li> <li>・事務局案は、</li> <li>・委員長に鎌田委員、副委員長に平野委員と考えている。</li> </ul>
事務局	(拍手)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承認いただいたので、鎌田委員長、平野副委員長にお願いする。</li> </ul>
委員長	○委員長、副委員長あいさつ。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千種町下河野在住。今、しそうチャンネルで「下河野ウォーク」の様子が放映されているが、その中で地域の説明をしている映像が流れている。今日は8月9日であり、8年前の今日は自宅も台風9号の被害の影響で裏山から土石流の被害にあい、大規模半壊となった。翌月の広報には私の家に大きな石が流れ込んだ様子が掲載された。長崎の平和記念日と合わせ忘れられない日である。これから委員長として会議を進めるのでよろしくお願ひしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここから進行を委員長にお願いする。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第にもとづき会議を進める。みなさんの協力をお願いする。</li> <li>・説明の1～3について、一括して事務局より説明をお願いする。</li> </ul>
事務局	<p>下記について一括説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宍粟市コミュニケーション戦略プラン</li> <li>2. 広報広聴推進委員会の役割</li> <li>3. PR動画（28年度制作「宍粟に恋しそう」他、29年度制作「しそうチャンネル加入推進動画」）視聴</li> </ol>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局よりの一括説明を受けたが、各委員からの意見・質問はないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画について。視聴された方からの意見や感想はあったか。それは何件程度か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しそうチャンネルのPR動画は出来たて、初披露である。かねてから加入率のことや、この会議でも画質の問題などが指摘されていたものが、昨年度ようやくハイビジョン化することができたため、未加入者向けにPR動画を作ればどうかという意見をいただいたこともあり作成したものである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに以前のものより質的にも動画の内容的にもよいものできていると思う。前回のものをYouTubeや市外で放映されたことに対する感想はいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前より発信しているものに対し、アンケート等に行っていないため把握できていない。動画を視聴された方から直接感想をもらうことはあるが、おおむね好評であった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しそうチャンネルは加入・未加入があるのか。私は加入手続きをしたおぼえがないが、自宅</li> </ul>

事務局	<p>で視聴できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ組合などがあつた地域については、地上デジタル放送へ切り替わる際にまとめて加入いただいている。市内の半数程度は該当する。しかし、視聴料（月額 500 円税抜き）がかかるため、街なかのアンテナ受信が可能な地域では加入が伸び悩んでいる。当委員会においても、画質の向上や内容の充実についてご意見があつたため、その部分を少しずつではあるが積み上げて強化している。今回のPR動画は、しそチャンネル自体を知らない方に向けて作成したものである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビ加入＝しそチャンネル加入と考えればよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビ・しそチャンネルの加入率が市内約半数とそんなに低いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビに加入しなくとも、山崎などはアンテナ受信でテレビ視聴可能地域があるため、しそチャンネルは見れないが、NHKや民放は視聴できる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ市内でも地域によりテレビ視聴の環境がここまで違うとは知らなかった。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によっては、しそチャンネルやケーブルテレビ自体を知らない方がいるため、まず知っていただくことを目的に今回のPR動画を作成した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しそチャンネルの紙媒体の「番組表」はないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しそチャンネルの番組表は、市ホームページに掲載してるものと、加入されている方はテレビのデータ放送（リモコンの番組表）でご覧いただける。紙媒体はホームページからダウンロードしていただくとう入手できる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントで取材されると、いつから放送か気になるので確認できればと思った。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外向けに作成したPR動画の反響について把握していないということであるが、YouTubeであれば「再生回数」ではっきりわかる。近年、自治体のPR動画は様々に多数作られている。同じような形態のものとは比べることなど調べれば、少しは反響がわかると思う。良い動画は回数もすごく増える。そういう取り組みも必要だと考える。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生回数については7月上旬ごろに調査確認した。公開動画トータルで4,000件ほどであったと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画でちくさ道の駅のシーンがあつた。その影響か、神戸や大阪ナンバーの車が非常に多い。神戸などで映像が流れているためか。そう考えれば効果や反響がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画は4～5月に神戸の映画館で放映した。契約期間の関係があり現在は放映していないが、8月中旬以降に再度神戸で放映を予定している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど委員からあつたが、28年度最後のこの委員会の中で、PR動画の作成過程の部分で委員会のあり方・立ち位置の話が出たと記憶している。冒頭、事務局から説明があつたが、今後発展的に市民や団体の意見を取り入れて施策に反映させていこうとするのであれば、この委員会の開催を年1～2回とするのではなく、何か具体を作る際には一緒に考えていけるような委員会であつてほしいと願う。また、提案として、宍粟市は広聴の部分が非常に弱いと感じている。行政だけではなく、商工会など団体も同じだと思う。複数の媒体によってお知らせすることはできるが、市民住民や会員の意見を聴取することが非常に弱いという状況があるので、この問題についてもこの委員会の中で考え、話し合っていければと思う。商工会と市との経済懇談会の中で具体的に上がったが、しそチャンネルや市ホームページの利活用についても団体として提案させてもらっている。行政だけではなく、一般市民・団体の力やエネルギーを利用しながら、広聴の部分に取り組んでもらいたい。その取り組みの中で必然な情報が市民住民に届くようになるのではと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、調べたところ、YouTubeの現在の視聴回数は1,234回である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどお伝えした4,000回という回数は、全動画合計数とお考えいただきたい。</li> </ul>

委員	<p>・しそチャンネルについて。しそチャンネル自体をこれからどうしていくか。すごく大きなメディアである。規模は市内だけではあるが、動画放送など影響は大きい。市がいつまでも抱えて運営するのか。公営ではなく、民間・外部の力を入れていくことで、どう運営していくか・どうすれば魅力を発信することができるかが発見できるのではないかと。独立した組織で動かしていく構想はないのかと常々思っている。そういう方向を模索するなどし、宍粟市として運用していくと。しそチャンネルの運営を外部委託し、番組を作っていくという姿勢が必要ではないか。行政の目からだけ見て、市民がどういうものを必要とし求めているかがわからないのではないかと。現在も動画放送でイベントの紹介等しているが、動画に出演・登場した人は意識してよくみるかもしれないが、それ以外の人たちにどれほど魅力が伝わっているかを考えれば、むしろ事後の放送ではなく、事前にどんなイベントがあるかという観点で紹介するほうが「イベントの広報」になると考える。今年のイベント映像を、今年のイベント開催前に放送するなどでもよい。</p>
委員	<p>・現在、市がどれくらい姫路ケーブルテレビに費用を払ってしそチャンネルを放送しているのか、具体的な細かい数字は知らないが、民間含めた委託を出すには市内企業の現状から考えると、私は非常に難しいと思う。以前にも委員会において発言したが、簡単な動画や映画を市職員がチームをつくって作成することは非常に簡単だと考えている。趣味として動画作成をしている人は多いと思う。他の自治体や海外では非常に多く作成されている。そういう工夫で、制作にはコストがかからないように変えていく。しかし、放映の最終的な権利は姫路ケーブルテレビにあるので、動画を流してほしいといった際には費用が必要となる。</p>
委員 委員 事務局	<p>・それは違う。実際は市で映像を作り、番組を組み立てて放送している。  ・電波を使うにはかなりの費用を使っているはずである。  ・しそチャンネル放送の仕組みを説明する。ケーブルはすべて市が整備している。放送免許は姫路ケーブルテレビ（ウインク）だが、そのうちチャンネルのひとつを完全に宍粟市がコントロールできる仕組みになっている。そこに対して対価は支払っていない。委託で動画作成してもらった部分については、市内業者と姫路ケーブルテレビ（ウインク）に取材・作成等お願いし、1本いくらかという契約をしている。先ほどご提案いただいたイベントの予告についても、すでに取り組んでいる。民間人材の活用等、以前より委員会で提案いただいたことについて、少しずつはあるが取り組みを進めているところ。</p>
委員 事務局	<p>・制作の費用と放送の費用とが、それぞれかかっているという考えでよいか。  ・制作費用は委託料として支払っている。放送費用としては、ケーブルテレビ加入およびしそチャンネル視聴料の月額540円については姫路ケーブルテレビが徴収し、その中からケーブル回線使用料を市へ納入いただいている。</p>
委員 事務局 委員	<p>・市の収支はプラスになっているのか。  ・プラスにはなっていない。  ・論点はそこにある。放送局がコマーシャルで番組を売り、収入を得て制作する。差し引きで儲けができる。それが民間の勘定だが、現在の市の状況は制作と放送でマイナスがでている。私は制作の費用のほうに多く負担がかかっていると思うので、それを限りなくゼロに近づけるべく、市役所内や市のボランティアの方々に制作をすれば、将来的に費用を抑えられるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>・私が言いたいのはそういうことでなく、例えば山崎文化会館であれば、運営は宍粟市文化振興財団という公益財団法人であり、市から予算をもらい、財団がすべての運営を行っている。その形の独自の運営体制が必要ではないかと申し上げている。</p>
委員	<p>・運営する団体・母体を作るのは簡単だと考えるが、そこから動画制作をどこかに頼むということが大変だと思う。</p>
委員	<p>・その部分は、今動いているところも十分活用しないとイケない。</p>

委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全参加委員から意見を述べていただきたい。子育て世代の思いは何かか。</li> <li>・市外に向けたPR動画を視聴し、あらためて宍粟の良さを感じることができた。観光より移住定住に力をいれた動画だと思う。観光に来るには良いところだが、実際に移住定住してどう生活するのか具体的な魅力が盛り込んであると、もっと良かったのにと感じた。小さい子どもが楽しめる公園の紹介など、今後制作の機会があれば検討してもらいたい。</li> </ul>
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員としてのご意見は何かか。</li> <li>・波賀で居住しているので、しろうチャンネルに加入しており視聴できる。2年前に移住してきたときには、しろうチャンネルの画質の悪さに驚いた。最近高画質対応となり、ずっと見ても見やすくなりストレスがなくなった。動画の編集についても、ユーモアがあったり画面転換が速かったりと、工夫されているように感じている。先ほどの意見にもあったが、地域によりしろうチャンネルに対する温度差が非常にあると思っている。波賀千種と一宮南部以南に意識の違いがある。波賀千種で生活している人は、当たり前のように市内はすべてしろうチャンネルが見られると思っている。</li> </ul>
委員 委員 委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は山崎在住。しろうチャンネルは見ないし、今日まで知らなかった。</li> <li>・一度も見たことはありませんか。</li> <li>・自宅にはしろうチャンネルが入っていないので、一度もありません。</li> <li>・自宅で見られない方は、おそらく見る機会がないと思う。まず「知る」ことから始めなければいけないと思う。知ってもらうきっかけ、機会を作ることが重要ではないか。まず認識してもらい、その後はどう作っていけばいいか。加入していない人の意見把握も重要だと思う。</li> </ul>
委員 委員 委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴料月額540円は高いと思う。</li> <li>・高いと思われることに驚いた。</li> <li>・民放はもちろん、NHK受信料と比べても高いと感じるのでは。</li> <li>・しろうチャンネルの加入を増やす方策として、たしかauが契約者に対し割引をしているはずなので、その周知等も有効ではないか。</li> </ul>
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額に対する温度差も大きい。</li> <li>・波賀千種など加入者が多い地域は「月額540円で全チャンネルが見れる」という認識だが、すでにテレビ視聴が可能な一宮以南地域は「月額540円でしろうチャンネルしか（追加で）みれない」という感覚がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビは、月額540円で民放放送・NHK・BSなど、たくさんのチャンネルを見ることができる、という思いがある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しろうチャンネルに価値を見出せるような番組制作に取り組むことが必要。祖父母世代には孫の様子、学校行事の情報番組があるなどすれば、新しい加入者が増えるのではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会終了予定時刻となったので、アドバイザーの井関先生に総括をお願いしたい。</li> </ul>
アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回第1回委員会であったが、これからのむけた議論でよかったと思う。しかし今回のように事務局からの説明後に自由に議論してください、という形では、何について議論すればよいか論点のはっきりしなくなり、そうすれば委員が各々に関心を持っているものについて話を進める形となる。今回は第1回なのでそれでもよかったと思うが、本当は「推進委員会」であり、広報広聴という広い範囲を一気に進めることはできず時間もかかるため、年間スケジュールを作成し、例えば今年は3つのテーマ課題について4回ほど順序立てて議論し、最後に成果を出すという見取り図のなかで「今日はこれをやる」という位置づけをはっきりしたかたちで議論をしていくように、そうでなければ話し合った結果が見えないまま、何に生かすか成果なく雑談で終わってしまう。次からは「今日のテーマ」「テーマに沿った議論」が展開できるよう、</li> </ul>

	<p>事務局から見取り図を示してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政全般にいえることとして。「自治体PR戦略」という昨年12月に電通から出版された本がある。こういう本が出版されるということは、非常に関心が高まっていることの証であり、重要度が認識されているからである。この中に「脱広報のすすめ」とあり、これは情報発信するだけではダメで、情報発信した後が重要だと記してある。情報発信し、それを何に用いるか。発信後が重要である。例えばPR動画を作った。今までは作るだけで成果であったが、それではいけない。本当は何のために作ったか。行政の説明では「PR動画を作りました。これはどこで放映するか」というと〇〇でします」と、作ったことが先に来て、目的などが補足として出てくる。そこの捉え方が本丸であり、「動画をどこで流すか」をまず考えて、それに見合うコンテンツ・内容のものを作る。逆算して考えなければいけない。残念だが去年はそこが逆転してしまった。コンテンツが先行してしまったけれど、そのなかで努力され工夫が活かされたと思う。しそチャンネルについても同様で、そのメディアをどう使うか、何を実現するかというところがないと、ただ情報を流すだけで、一体何のためかがわからないということになってしまう。今後、コミュニケーション戦略ということで「まちづくりのツールとして」という表現になっているが、情報発信だけでなく、それを使って何をするかという視点が一番重要であるということをご理解いただきたい。以上二点、今後の会議のあり方と広報の考え方、情報発信だけでなく次を考えるという視点を持っていただきたいということをお伝えする。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井関トバ伊ーのお話にあるように、会議の目的をもって雑談におわらない成果をもたらす会にしていきたいと思うので、事務局には次の会からよろしくお願ひしたい。今回出た意見についても事務局に整理していただき、次回の会議で報告をお願いする。</li> <li>・その他について事務局からあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は午前中に会議設定をした。委員の方においてはご都合があると思うが、できれば次回からも午前中の開催にしたいと考えている。また、井関トバ伊ーからのご意見のとおり、今回は事務局で精査したものを課題として出させていただきます。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他になければ閉会としたい。閉会あいさつを副委員長をお願いする。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間にわたりお疲れさまでした。多方面から活発に意見ができる会議である。事務局には、先ほどトバ伊ーからもあったが、依頼として、次回の会議からは会議案内と同時に事前に議題を示した資料を配布いただきたいと思う。そうすれば各委員とも、意見を準備して会議に臨むことができ、より充実した会議にできると考えられる。よろしくお願ひしたい。それでは29年度の第1回会議を終了します。</li> </ul> <p>(終了 11:40)</p>